

プログラム 2022 年 12 月 10 日(土) 第 1 日目

開会のあいさつ、来賓あいさつ

10:00—10:20 Channel 1

大会長講演

10:30—11:30 Channel 1

座長： 中村 佳永子 京都府精神保健福祉総合センター 医師

京都府の精神保健福祉資料 630 調査から考える これからの精神保健医療福祉

山下 俊幸

京都府立洛南病院 医師

交流コーナー1

10:30—12:00 Channel 2

近年の重大事件に思うところ ～北新地ビル放火事件や京アニ放火事件などから～

座長： 桐原 尚之 全国「精神病」者集団 当事者

岩根 達郎 京都府立洛南病院 作業療法士

話題提供者： 塚崎 直樹 京都府精神保健福祉推進家族会連合会 医師

山田 悠平 一般社団法人精神障害当事者会ポルケ 当事者

波床 将材 京都市こころの健康増進センター 医師

分科会 1 退院支援・地域生活支援

10:30—11:30 Channel 3

座長： 香山 明美 東北文化学園大学

佐藤 康一 桜ヶ丘記念病院

1-1 LAI 治療継続しながら産婦人科との連携支援により無事出産に至った一例

○木内 健雄

医療法人義興会 可知記念病院 薬剤部 薬剤師

1-2 退院支援の失敗を経て「合同面接」により自宅退院に繋がった統合失調症の 1 例

○小坂 徹¹、手塚 直人²

¹医療法人社団俊睿会 南埼玉病院 医師、²医療法人社団俊睿会 南埼玉病院 医師・副院長

1-3 グループホーム入居者の人格へのアプローチと病状の変化

～演劇を用いた自己表現と自己考察を通して～

○坪倉 正史

特定非営利活動法人ハートフルトボス 精神障害者グループホーム 理事長

1-4 地域定着支援における本人自らが SOS を発信する困難に関する事例研究

○人見 裕江¹、寺田 准子²、石井 薫³

¹相談支援センターねこの手みつ 相談支援専門員、²大阪青山大学健康科学部看護学科 講師、

³関西福祉大学看護学部看護学科 助教

座長： 福治 康秀 琉球病院
大塚 淳子 帝京平成大学

2-1 車椅子ベルト使用ゼロを目指して ～安全か尊厳かの葛藤～

○大戸 勇士¹、吉村 大¹、石川 佳彦¹、近藤 通子²、養島 豪智²、佐々木 あゆみ³、
疋田 康⁴、常盤 真帆⁴、富上 牧子⁵、大山 由紀子⁶
稲門会いわくら病院 ¹看護師、²医師、³管理栄養士、⁴PSW、⁵理学療法士、⁶作業療法士

2-2 犬山病院における身体的拘束ゼロを達成した短期集中的な取り組みの過程とその評価

○吹田 正治¹、永井 典子²、嶋原 大樹²、高沢 悟²
¹犬山病院 医師、²犬山病院

2-3 身体拘束と医師・患者関係に関する一考察

○田中（仮名）
当事者 学生

会員報告、意見交換

12:40—13:30 Channel 1

浜田賞授与式

13:30—13:50 Channel 1

シンポジウム 1 さまざまな取り組みから日本の「地域」を考える

14:00—16:30 Channel 1

座長： 三品 桂子 元花園大学 精神保健福祉士
波床 将材 京都市こころの健康増進センター 医師

イタリアの精神医療改革から何を学ぶべきか

小村 絹恵
一般社団法人イケダ大学 精神保健福祉士

この国に「地域」は可能か

高木 俊介
たかぎクリニック 医師

ベルギー精神医療改革と日本 ―精神障害者家族の視点から―

岡田 久実子
(公)全国精神保健福祉会連合会 家族

座長：丸井 規博 (医)博友会 まるいクリニック

篠原 由利子 京都府立大学

3-1 精神科医療保健福祉の問題抽出 一日弁論決議、診療報酬改定、検討会報告書を通じて—

○中島 直

医療法人社団新新会 多摩あおば病院 医師

3-2 医療観察法に対する最高裁判所の姿勢

○中島 直

医療法人社団新新会 多摩あおば病院 医師

3-3 精神科病院で働く職員が用いる当事者に対する言葉遣い

～行動制限最小化委員会で行った職員向けアンケートの結果から考察する～

○石川 佳彦¹、吉村 大²、館澤 謙蔵²¹稲門会いわくら病院 看護師、²稲門会いわくら病院**3-4 北海道における精神科入院者への権利擁護団体の設立**○松本 真由美¹、原 昌平²、上坂 紗絵子²¹日本医療大学 教員、²大阪精神医療人権センター

座長：比留間 ちづ子 若年認知症社会参加支援センタージョイント

関口 明彦 全国「精神病」者集団

4-1 統合失調症ケアラー質問票（J-SCQ）の作成とその活用

○神澤 尚利

東京医科大学医学部看護学科 講師

4-2 援助者のためのセルフヘルプグループ「ONE STEP」

～援助者が援助される仕組みのひとつとして～

○齋藤 静保¹、山中 達也²¹特定非営利活動法人たかつ de ほっと 精神保健福祉士、²山梨県立大学人間福祉学部**4-3 「クライシスプラン」導入プロジェクト ～病院勤務のピアスタッフを起点とした、「クライシスプラン」導入を目指した多職種連携の取り組み（自己決定のために）～**○村山 文彦¹、亀沖 昌睦²、鵜飼 絢心²、後藤 章仁²、増川 ねてる²¹医療法人桜桂会犬山病院 ピアスタッフ・精神保健福祉士、²医療法人桜桂会犬山病院 ピアスタッフ**4-4 脱ひきこもり者のその後のキャリア形成をめぐる一考察 —支える人のいる意外な所**

○山岸 竜治

日本大学生産工学部 准教授・精神保健福祉士

理事会企画シンポジウム

16:40—18:40 Channel 1

混迷を深める国の施策・あるべき姿を追求する精神医療現場・語り始めた当事者 ～身体拘束の諸相から考える

座長：長谷川 利夫 杏林大学 保健学

関口 明彦 NPO 法人ミューライフサポート MEW 当事者

シンポジスト：伊藤 博吉 犬山病院 看護師

大堀 尚美 NPO 法人ボプラの会 当事者

高岡 健 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 医師

交流コーナー2

16:40—17:40 Channel 2

ゆるやかなつながりの試み ～京都での当事者活動紹介～

座長：塚崎 直樹 京都精神保健福祉推進家族会連合会 医師

岩根 達郎 京都府立洛南病院 作業療法士

話題提供者：なないろ会

京都精神障害者フットサルクラブ（おこしやす京都）キャプテン

京都精神障がい者バスケットボールクラブ（ミヤコデッセ京都）キャプテン

種真希 HOPE

ワークショップ

お薬・当事者研究

16:40—18:40 Channel 3

処方薬を減・断薬して回復を維持している人の『お薬・当事者研究』 語り合おう向精神薬の話

ファシリテーター：月崎 時央 ジャーナリスト

不破 徳彦 当事者 メンタルカウンセラー

プログラム 2022 年 12 月 11 日(日) 第 2 日目

シンポジウム 2 ハームリダクション ―依存症治療の転換―

10:00―12:00 Channel 1

座長: 加藤 武士 木津川ダルク 回復当事者

三家 英明 三家クリニック 医師

依存症者や物質使用障害者をみて薬物使用全体を語ってきたのではないだろうか

加藤 武士

木津川ダルク 回復当事者

ソーシャルワーク実践からハームリダクションを考える

松浦 千恵

安東医院、バザールカフェ ソーシャルワーカー

刑事政策学の関連からみたハームリダクション ～物質乱用は、疾病か?～

石塚 伸一

龍谷大学 教員

刑罰より治療を

野田 哲朗

東布施野田クリニック 医師

シンポジウム 3 精神科医療における看護師の役割

10:00―12:00 Channel 2

座長: 長谷川 唯 立命館大学生存学研究所 研究員

末安 民生 佛教大学 教授

精神科看護師の役割

武田 慎太郎

稲門会いわくら病院 看護部長

当院における精神科看護の現状

養田 きよみ

京都博愛会病院 精神科一般病棟看護師長/博愛会病院教育担当師長

精神科医療における看護師の役割

吹田 幸介

訪問看護ステーションこころ 城陽 看護師

精神科医療における看護師の役割

館澤 謙蔵

稲門会いわくら病院 精神保健福祉士

座長： 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
田上 美千佳 千葉大学大学院

5-1 児童相談所一時保護児童における精神科医療ニーズの実態 ～その1～

○長倉 いのり¹、内田 祐子²、田中 浩一郎²、田中 一史²、森 未央子²、田中 絢子²、
上野 千穂³、村松 陽子²

¹京都市児童福祉センター診療所 医師、²京都市児童福祉センター診療所、

³京都市第二児童福祉センター診療所

5-2 児童相談所一時保護児童における精神科医療ニーズの実態 ～その2～

○内田 祐子¹、長倉 いのり²、田中 浩一郎²、田中 一史²、森 未央子²、田中 絢子²、
上野 千穂³、村松 陽子²

¹京都市児童福祉センター診療所 医師、²京都市児童福祉センター診療所、

³京都市第二児童福祉センター診療所

5-3 デイケアにおける発達障害を有する大学生の支援

○諏訪部 亮一

医療法人博友会まるいクリニック 公認心理師

5-4 診療所のデイケアにおける大学生自閉スペクトラム症プログラムの役割と意義を考える

○和田 麻奈美¹、嶋村 春花²、片岡 茉好²

¹医療法人博友会まるいクリニック デイケア 看護師、²医療法人博友会まるいクリニック

座長： 岸 信之 京都桂病院
廣川 聖子 川崎市立看護大学

6-1 新型コロナウイルス感染症蔓延下における地域移行支援

—効果的支援要素の実施状況調査の結果から—

○古屋 龍太¹、中越 章乃²

¹日本社会事業大学大学院 精神保健福祉士、²東海大学健康学部 精神保健福祉士

6-2 コロナ禍における地域移行の取り組み ～感染防止を優先し、WEB やオンラインを活用～

○田中 稔一¹、藤井 弘²、植田 真由²、三村 武士³、望月 潤一³、すなふきん³、さくら³、
葵³、chico³、オトコサン³、筆保 洋子³

¹京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」 主任、

²京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」、³ピアサポーター

6-3 精神科病院における新型コロナ感染でおきている人権状況の危機

～面会・外出などの行動制限がもたらしているもの～

○有我 譲慶

訪問看護ステーション チャオ・認定 NPO 法人大阪精神医療人権センター 看護師

シンポジウム 4

12:20ー14:20 Channel 1

当事者に聞く地域の医療と福祉

座長: 藤井 渉 日本福祉大学 准教授
宇川 征宏 京都市中部障害者地域生活支援センター「にしじん」相談支援専門員

シンポジスト: ゆうやさん 当事者

ゆうやさんの家族

居宅介護事業所 Jフリード訪問介護事業所/鶴飼智申 介護支援員、
ヘルパーステーションかどの、
訪問介護ステーションメイク、
ストレイト・コンサルティング

山田 高弘 訪問看護ステーション「Smile(スマイル)エイド」看護師

佐通 淳子 京都市中京区役所保健福祉センター 精神保健福祉相談員

田中 秀暁 元いわくら病院・現訪問看護ステーション「つばさ」看護師

丁 春輝 いわくら病院 精神保健福祉士

養島 豪智 いわくら病院 医師

シンポジウム 5

妊娠期からの Co-production

～当事者・こども・家族・支援者の対等なパートナーシップ～

12:20ー14:20 Channel 2

座長: 長倉 いのり 京都市児童福祉センター診療所 医師
時澤 久美子 京都府山城南保健所 精神保健福祉相談員

当事者・家族の立場から考える Co-production

稲田 美紀
東京の下町の診療所 医師

当院における妊娠期から切れ目のない支援の取り組みと今後の課題について

北岡 由衣
京都山城総合医療センター 医師

精神医療の立場からみた周産期メンタルヘルスにおける現状と課題

大矢 希
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 医師

当事者の力を信じ、寄り添う支援と関係機関連携

速見 典子
京都府木津川市役所 保健師

指定発言: 上野 千穂 京都市第二児童福祉センター診療所 医師

シンポジウム 6 法律家との連携における可能性

12:20—14:20 Channel 3

座長： 長谷川 唯 立命館大学生存学研究所 研究員
西村 睦美 川越病院 ソーシャルワーカー

法律家との連携における可能性

山口 亮
つくし法律事務所 弁護士

措置入院の悪用と法律家による支援

齋藤 幹之
当事者

本人を主体とした地域移行・地域定着支援について —医療観察法の一例—

緒先 賢心
当事者

法律家との連携における可能性

李 マリジャ
黒川サルーテメンターレ 精神保健福祉士

法律家との連携における可能性

金井 浩一
一般社団法人ライフラボ／相談支援事業所しぼふぁーれ 精神保健福祉士

教育講演 1

14:40—16:10 Channel 1

座長： 川合 裕子 小阪病院デイケアセンター 臨床心理士・公認心理師

「ひきこもり」と「発達障害」

波床 将材
京都市こころの健康増進センター 医師

教育講演 2 メリデン版訪問家族支援の効果や実践について

14:40—16:40 Channel 2

座長： 三品 桂子 元花園大学 精神保健福祉士
熊取谷 晶 京都府健康福祉部障害者支援課 認定・精神係 精神保健福祉士

メリデン版訪問家族支援とは

佐藤 純
京都ノートルダム女子大学 精神保健福祉士

メリデン版訪問家族支援を受けた家族の声

メリデン版訪問家族支援を受けた本人と家族
Oさん親娘

メリデン版訪問家族支援の地域での実践

西邑 章
京都府中丹東保健所 精神保健福祉士

ピアサポートのこれから —京都方式の可能性—

座長: 長谷川 唯 立命館大学生存学研究所 研究員
田中 稔一 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」 主任

シンポジスト: 白田 幸治 京都ユーザーネットワーク 当事者
高見 啓由 枚方市社会福祉協議会 当事者
なっちゃん 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」 当事者
山崎 理恵 栄仁会相談支援事業所おうばく 精神保健福祉士
桐原 尚之 全国「精神病」者集団 当事者 日本学術振興会特別研究員 PD
松田 美枝 京都文教大学 准教授・精神保健福祉士・臨床心理師・公認心理師

閉会式